DECISION Request No.: 25

Protest

Event: 2022 全日本学生ヨット選手権大会 87th ALL Japan Intercollegiate Sailing Championship Race Number: 3

Hearing Schedule: 2022-11-04 19:30

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 25: 国際470級 - 国際470級 - JPN 4534 - 6 - 東北大学 渡邉 凌大

国際470級 - 国際470級 - JPN 4632 - 2 - 北海道大学 松本 快

Witnesses: 470級金沢大学(45) 長谷川 樹、藤井 裕文(PC)

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Beyond with Good Reason

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Protest hailed Red Flag Displayed: Not required

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

熊谷 羽留(2のスキッパー)は、オブザーバーとして審問に出席した。

当事者はオブザーバーの参加を認めた。

6の救済要求は、RRS 62.2で求められている抗議締切時刻まで、又はインシデント発生後2時間以内にレース・オフィスに提出されなかった。ただし、RRS 62.2に基づき、PCが締切時間を延長する正当な理由があった。

FACTS FOUND

第3レースの6レグにおいて、風速は7knot、波高は30cmだった。

6と2はポート・タックでリーチングを帆走していた。両艇はオーバーラップしており、2が風上であった。

6と2の前方にはクリア・ヘッドの45がポート・タックのリーチングで帆走していた。

45が風上側のフィニッシュ・マークのゾーンに到達した時、6と2に対してクリア・アヘッドであった。

2が風上側のフィニッシュ・マークのゾーンに到達した時、2の内側にランニングで帆走していた2艇がオーバーラップおり、風下側の6とのオーバーラップは継続していた。

フィニッシュ・ラインを横切る直前、

風上側のフィニッシュ・マークと一番風上側の他艇の距離は半艇幅、

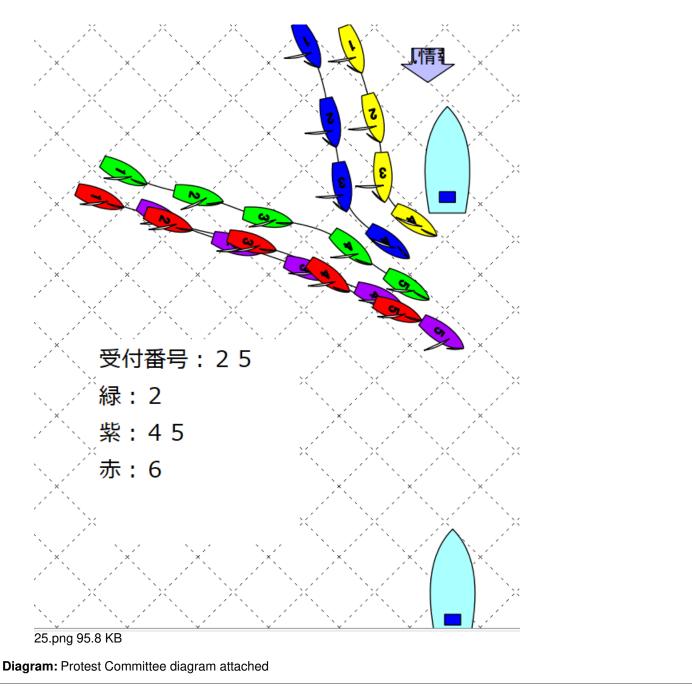
一番風上側の他艇と風上側から2番目の艇との距離は1艇幅であった、

風上側から2番目の艇と2の距離は1艇幅であった、

2と6の距離は30cmであった。

直後、6がベア・アウェイし、6のバウと45のスターンが接触をした。

両艇に損傷や傷害はなかった。何れの艇もペナルティを履行していない。



CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: 12

クリア・アスターンの6は、クリア・アヘッドの45を避けていなかった。規則12に違反した。

DECISION

第3レースにおいて、6を失格とする。

Date & Time: 2022-11-04 22:05 JST

PROTEST COMMITTEE

Chaired By: Kenta Onouchi (JPN)

Committee Members: Kiyokazu Kuraishi (JPN), Hikaru Tagaya (JPN), Masahiro Yoshimoto (JPN)